



平成23年10月27日

各位

上場会社名 高砂鐵工株式会社
 代表者 代表取締役社長 大植 啓一
 (コード番号 5458)
 問合せ先責任者 取締役経理部長 畑田 正樹
 (TEL 03-5399-8111)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成23年7月22日付「ステンレス事業(一部)の事業譲渡契約締結およびめっき事業の撤退に関するお知らせ」に関連して特別損失を計上することになり、また、最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月13日に発表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,800	△80	△130	560	18.64
今回修正予想(B)	6,994	△528	△604	△1,005	△33.49
増減額(B-A)	△806	△448	△474	△1,565	
増減率(%)	△10.3	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	8,935	△786	△857	925	30.81

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,300	200	100	780	25.97
今回修正予想(B)	13,200	△330	△480	△1,000	△33.29
増減額(B-A)	△4,100	△530	△580	△1,780	
増減率(%)	△23.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	17,091	△912	△1,076	755	25.15

平成24年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,800	△100	△150	550	18.31
今回修正予想(B)	5,153	△354	△408	△844	△28.12
増減額(B-A)	△647	△254	△258	△1,394	
増減率(%)	△11.2	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	5,958	△659	△705	854	28.43

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,300	150	50	750	24.97
今回修正予想(B)	9,400	△180	△300	△850	△28.30
増減額(B-A)	△3,900	△330	△350	△1,600	
増減率(%)	△29.3	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	12,074	△807	△924	588	19.60

修正の理由

(1) 特別損失の計上について

平成23年7月22日付「ステンレス事業(一部)の事業譲渡契約締結およびめっき事業の撤退に関するお知らせ」のとおり、平成24年3月期において、ステンレス国内販売事業(エンボス製品を除く)の譲渡およびめっき事業の撤退に関連して、事業構造改善費用として特別損失が発生いたします。

この事業構造改善費用については、第1四半期においてすでに機械装置の減損損失等を553百万円計上済みですが、第2四半期におけるNSステンレス株式会社への事業譲渡に係る棚卸資産の評価損71百万円(譲渡する資産の金額578百万円に対して譲渡価格507百万円)およびその他の棚卸資産の評価損等を含め、上半期累計では合せて997百万円計上いたします。

また下半期は退職金負担等その他費用の計上を予定しており、通期では総額約1,100百万円の計上を見込んでおります。本件特別損失の計上は連結・個別業績ともに今回の業績予想の修正に織り込み済みであります。

なお、今回の当事業の抜本的改善策実施にあたり、上記の事業構造改善費用の一時的損失負担が生じますが、下半期以降は不採算事業であるステンレスの国内販売事業を譲渡し、めっき事業から撤退し、収益力のあるみがき帯鋼事業および特長商品であるエンボス・加工品事業に経営資源を集中することにより黒字化を見込んでおります。

(2) 第2四半期累計期間業績予想の修正について

連結・個別業績ともに主力である鉄鋼製品事業のステンレスにおいて先安感に伴う買控えムードの中で需要回復のテンポは依然鈍く、売上高・利益面ともに厳しい状況が続いているのに加えて、連結決算においては、平成23年9月27日付「子会社における債権の取立不能又は取立遅延のおそれに関するお知らせ」のとおり当該債権に対して173百万円の貸倒引当金を計上するとともに、一般債権に対しても貸倒引当金を積み増し計上いたします。

さらに、「上記(1)特別損失の計上について」欄で説明したとおり事業構造改善費用997百万円等を特別損失として計上するため、売上高・利益面ともに前回予想を下回る見通しとなったものです。

(3) 通期業績予想の修正について

下半期以降は、当社の事業構造が大きく変わり、売上高は減少するものの、採算性は大きく向上し黒字化を見込んでおります。

しかしながら、通期では、第2四半期累計期間の減収減益要因があるのに加えて、「上記(1)特別損失の計上について」欄での説明のとおり事業構造改善費用の計上を予定しているため、連結・個別業績ともに売上高・利益面で前回予想を下回る見通しとなったものです。

(業績予想に関する留意事項)

本資料における予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

以上